

JTEC

REPORT

技術商社® ジェイテック通信

豆知識から読み解くジェイテック テクノロジストを支える3つの部隊 プレマネージャー制度

決算レポート

第 **29** 期

2024.4.1 ▶ 2025.3.31

[東証グロース市場]

[名証メイン市場]

証券コード：2479

TOP MESSAGE



代表取締役社長
藤本 彰 AKIRA FUJIMOTO

株 主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私たちジェイテックグループは、1996年8月の創業以来、日本が持つ「匠」の精神を継承し、知識に基づく知恵を扱う「技術商社®」として発展してまいりました。

昨今、トランプ米政権の関税措置を巡る政策等、世界情勢が目まぐるしく変化する中、日本においても大幅な物価上昇が続いており、生活の変化を余儀なくされる状況が続いております。

また、慢性的な人材不足が課題となっている中、技術革新の加速により、高度な技術を有する人材需要は益々高まっており、技術者ファーストを指針としている当社は、経済状況の変動に左右されず、テクノロジストをはじめとした全社員の待遇改善に

30期へ向け、 新たなステージに 乗り出して さらなる飛躍を

重きを置いております。

このような状況下、当社は、2025年5月14日をもって、東京証券取引所における当社株式の上場市場区分を、東証グロース市場から東証スタンダード市場に変更いたしました。より皆様からの信頼向上に資するよう長期的な企業価値の向上を図るべく、コーポレートガバナンスの強化、人材確保において競争優位性を高めてまいります。

また、第30期の会社方針として「THIS IS US」を掲げており、技術商社ジェイテックの全社員が同じ目標に邁進することにより、結束を一層強め、さらなる高付加価値化を目指す所存です。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

29th 業績ハイライト

4期連続増収
上場来最高益を連続達成
当期純利益は計画値超え

- ▶ ほぼフル稼働の高稼働率を維持
- ▶ 平均単価も堅調に上昇傾向継続
- ▶ 配当重視の株主還元姿勢を意識

今期の業績

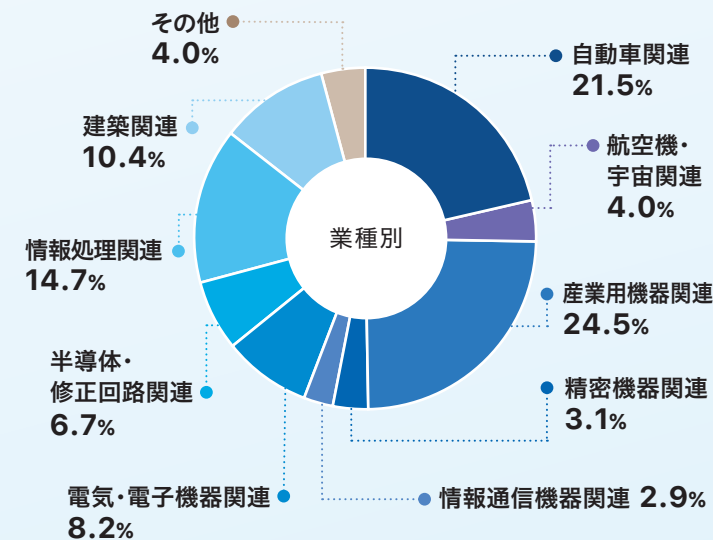
売上高
33億93百万円
前期比 4.6% 増 ▲

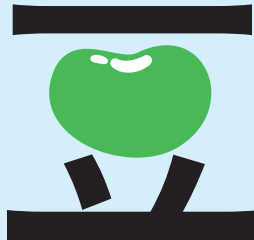
営業利益
3億29百万円
前期比 43.6% 増 ▲

経常利益
3億30百万円
前期比 45.8% 増 ▲

親会社株主に帰属する当期純利益
2億28百万円
前期比 39.3% 増 ▲

業種別売上構成比





知識から読み解くジェイテック

時代の変化に合わせて発展を遂げてきたジェイテック。

さまざまなバックグラウンドをもち、それぞれの強みを発揮する社員が多数在籍しています。

今回は、そんな当社の事業内容のほか、強みについて豆知識と合わせてご紹介します。

ジェイテックの事業とは？

高い技術力をもつテクノロジストたちが お客様の抱える技術課題を「開発」から支援

ジェイテックは、お客様に対して技術力や専門知識などの「知財」を提供し、技術課題を解決へと導く「技術商社」です。高い人間力と高度な専門性をもつテクノロジストたちが、新たな付加価値を創出。お客様先の開発チームに加わる「派遣型」と、社内の開発施設で業務を行う「請負型」の2つの形態にて、お客様の多様なニーズに応えています。



開発分野

機械 設計



飛行機の主翼から、家電・医療機器などの筐体・構造まで、さまざまな設計に携わっています。また、原子炉の探傷検査装置や、検査用小型潜水艦ロボットなどの分野でも高い信頼を得ており、活躍の場を広げています。

電気・ 電子設計



デジタル機器の基板設計を中心に、電池や記録媒体などの商品企画・設計・開発までを一貫して担当。未来を担う先端技術として、回路・基盤・熱制御の専門知識を活かし、多様な分野にて電気制御・回路設計を担っています。

ソフトウェア 開発



ものづくり産業における組込・制御システム開発を主体とし、メーカー等で使われる業務支援システム・Webアプリケーションの開発やネットワーク、サーバー構築など多岐にわたる分野において知恵を発揮しています。

建築 設計



設計・施工管理・工事主任といった業務のほか、建築における施主・設計事務所の課題に対応。図面作成をはじめとする上流工程から、メンテナンス業務、人的課題の解決まで、幅広い領域でお客様のニーズに応えています。

豆知識

1 「J」のロゴマークの由来

互いに支え合う“人”という字のかたちになっており、人と人が信頼の絆を結ぶ行為の尊さを象徴。「夢を共有するということはともに成長する喜びを確かめ合うこと」というメッセージが込められています。



3 第四次産業革命スキル取得講座に認定！

「まなクル」のオリジナルカリキュラムがIoT・AI等を学べる講座として経済産業省に認定されました。また、厚生労働省の専門実践教育訓練講座に指定されています。本講座を通じてIT人材の育成に貢献します。



4 ジェイテックの社会貢献

CSRの一環として日本ウィンドサーフィン協会のオフィシャルパートナーを務めています。予測不能な環境下で瞬時に判断して動くウィンドサーフィンは技術者に通ずるところもあると感じています。



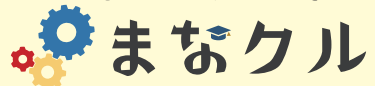
2 テクノロジスト=人間力&技術力

高い人間力と高度な専門性に裏付けられた想像力や発想力で新たな付加価値を創出し、お客様へソリューションを提供する…そんな技術者を当社では敬意を込めて「テクノロジスト」と呼称しています。



COLUMN

子どもから大人まで学べる



2022年に“生活支援コミュニティ・スペース”を提供する「まなクル」事業を開始。空間ビジネスの展開のため、求職者支援訓練などの学び場や就職支援を提供しております。今後もリスキング・リカレントの新たな可能性を開拓してまいります。

5 グロース市場からスタンダード市場へ

2025年5月14日をもって東証の市場区分がスタンダード市場になりました。ガバナンス強化等により、長期的な企業価値の向上を図るためです。名証メイン市場にも引き続き重複上場しております。



3 テクノロジストを支える 3つの部隊

当社の主力事業である技術職知財リース業を三位一体となって支える、営業部署(ビジネスHQ)、採用部署(ヒューマンリソースHQ)、教育部署(テクノロジーHQ)。各部署の目標やこだわりの業務内容をお届け！

採用

中期経営計画の700人体制構築に向けて、ジェイテックの仲間探しに全力疾走！



採用後も入社前まで手厚くフォロー！

新卒テクノロジストの早期就業に向け、双方の理解や親睦を深めるため、内定者と当社の社員を含めた懇親会を実施したり、内定者に対して月1程度にて継続的に連絡を行ったりしています。



新たな採用活動に向けての取り組み

新卒採用活動の推進のため、人員体制の強化に加え、従来の採用方法である学生と当社間だけの繋がりではなく、各自治体や学校との連携を深め、新たな採用活動の創出に努めています。

営業

テクノロジストの1番のパートナーとして、テクノロジストを二人三脚で支え続ける！



テクノロジスト



教育

技術力に加えて人間力のあるテクノロジストになるための成長支援をサポート！

研修のブラッシュアップで人間力強化

近年の新卒研修では、グループワークを多く取り入れることにより、コミュニケーション力の強化に重点を置き、お客様先で柔軟なコミュニケーションを図れるよう、成長支援を促しております。

スキルアップの圧倒的相談役！

就業を控えたテクノロジストに向け、お客様先の開発環境に合わせたツールオペレーションの取得を目指し、学習カリキュラムを相談して決定することにより、テクノロジストの技術力向上を支えます。

定期面談で常に見守ります！

お客様先で活躍するテクノロジストに対して、営業社員がお客様先に出向き、定期的な面談を実施することにより、テクノロジストの不安を解消できるよう、気兼ねなく相談できる環境を構築しています。

テクノロジストのキャリアを応援

テクノロジストの個性や技術力に合わせたお客様先を提案するのはもちろん、テクノロジストのキャリア形成を見据え、テクノロジストがより成長できるよう、お客様先との連携を重視しています。

各部隊のモットー

営業

質の高いテクノロジストを フォロー・育成

お客様のニーズに柔軟に対応できるよう、市場価値の高いテクノロジストを育成し、全体的なサービス水準の底上げを行っております。また、テクノロジストの技術力向上とともに単価の向上を目指します。

採用

採用強化を行い、 未来の卵を人材発掘

各地域エリアの採用強化のため、全国の営業所にリクルーターを配備し、リクルーターを通じて機動的に学校等との接点を作ることにより、未来の優秀なテクノロジストを確保したいと考えております。

教育

技術力と人間力の備わった テクノロジストを育て上げる

技術力だけでなく人間力の育成も行うことにより、利用者側(ユーザー側)の目線に立ったシステム開発・構築ができるテクノロジストになれるよう、テクノロジストひとりひとりに寄り添います。

プレマネージャー制度

今回、2名の熱意あるテクノロジストが本制度に立候補。マネージャーとしての目的や役割のほか、具体的な事例を交えて、他に類を見ない当社独自のプレマネージャー制度をご紹介します。

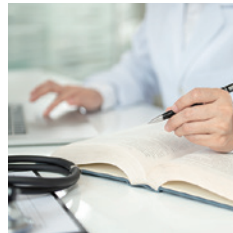
1 総合的な思考力を身につけ、貢献度を高めていく

経営視点とマネジメント能力を備えた社員の育成を目的とした本制度。普段はお客様先にて活躍しているテクノロジストを含めた全社員が改めてジェイテックについて考える機会を創出しています。また、経営者視点でのモチベーションを高くもち、マクロな視点を養うことにより、日頃の業務に活かしてほしいという目的もあります。



2 技術者の地位向上を目指して

当社は技術職知財リース事業を通して技術者が正當に評価される社会環境を目指し、「創造的個人経営者集団の形成」を経営理念としています。技術者の地位向上には技術力に加えて、個々に応じた付加価値が必要…そのためには経営ノウハウ取得の機会も提供したい…そんな思いから本制度が発足しました。



3 1年を通して、自らが率先して提案・実行を推進

テクノロジストに限らず、全社員が対象の本制度では、1年間の任期を通して、ミーティングにて、現場目線からみた会社の最適化・最善化に資する活動案を提起し、実行します。会社への貢献はもちろんのこと、実践を通じて、考え、学び、そして自身の成長にもつなげるなど、自己啓発的な側面ももっています。



4 社内制度である、海外研修をブラッシュアップ

過去の活動事例①

海外メーカーと英語でやりとりする業務場面が増えている中、必要なスキルとして、リーディングとライティングの能力が特に求められていることがわかりました。研修成果の目標を明確にするため、海外研修のほか、国内研修のカリキュラムについて考案し、テクノロジストの英語力向上を目指します。



5 メンタルヘルス制度における、社内への認知活動

過去の活動事例②

卓越した技術や知識をもつテクノロジストがさらなるベストパフォーマンスを発揮するため、メンタルヘルス面での健康管理に注目しました。当社が開発したシステム「こころチェッカー（メンタルヘルスチェック制度）」や社内イベントを通して、社員ひとりひとりをサポートし、精神の健康を維持・向上を促します。



6 テクノロジストの積極性を伸ばす、社内イベント

過去の活動事例③

「褒め合い」を目的に、お客様先での各自の実績や工夫している点を発表し合うグループワークを実施。参加者から褒められることにより、普段の業務に対して自信が生まれ、テクノロジストの積極性を活性化させるほか、テクノロジスト同士が情報を交換する場にもなっています。



プレマネージャーからコメント

プレマネージャーの認知拡大を目指して



入社11年目 電気電子分野
岩井 聡

プレマネージャー制度では、日頃の業務では経験できない計画立案からその運用までを、自分なりの方法で進めることができます。2度目のプレマネージャーとなるため、誰もが挑戦したいと思える制度を目指し、経験者として引き継ぎができるよう活動していきます。

経験と知識を活かして社員をサポート



入社5年目 機械分野
佐藤 正博

以前、アメリカに住んでいたとき、部下の管理をする立場で仕事をしていたことがあります。変化の激しいアメリカでの生活経験や、ジェイテックでの業務経験をもとに、社員の皆様のサポートができればと考えています。プレマネージャーの人数を増やせるようなカリキュラムの準備も出来たらと思案しております。

連結貸借対照表(要旨) 単位:百万円

	第28期 2024年3月31日	第29期 2025年3月31日
資産の部		
流動資産	1,909	2,071
現金及び預金	1,359	1,500
受取手形及び売掛金	459	476
その他流動資産	90	95
固定資産	151	146
有形固定資産	38	34
無形固定資産	1	0
投資その他の資産	110	111
資産合計	2,060	2,217
負債の部		
流動負債	522	535
固定負債	335	263
負債合計	858	798
純資産の部		
株主資本	1,208	1,401
その他の包括利益累計額	△5	17
純資産合計	1,202	1,418
負債・純資産合計	2,060	2,217

連結損益計算書(要旨) 単位:百万円

	第28期 2023年4月1日~ 2024年3月31日	第29期 2024年4月1日~ 2025年3月31日
売上高	3,242	3,393
売上原価	2,191	2,242
売上総利益	1,051	1,150
販売費及び一般管理費	822	820
営業利益	229	329
経常利益	226	330
税金等調整前当期純利益	226	330
親会社株主に帰属する 当期純利益	163	228

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) 単位:百万円

	第28期 2023年4月1日~ 2024年3月31日	第29期 2024年4月1日~ 2025年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	159	250
投資活動による キャッシュ・フロー	△1	2
財務活動による キャッシュ・フロー	△131	△112
現金及び現金同等物 の増減額	26	140
現金及び現金同等物 の期首残高	1,332	1,359
現金及び現金同等物 の期末残高	1,359	1,500

POINT

1 資産合計

前連結会計年度末より15百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加140百万円によるものです。

POINT

2 負債合計

前連結会計年度末より59百万円の減少となりました。これは主に未払法人税等の増加55百万円があったものの、長期借入金の返済による減少78百万円、未払金の減少22百万円によるものです。

POINT

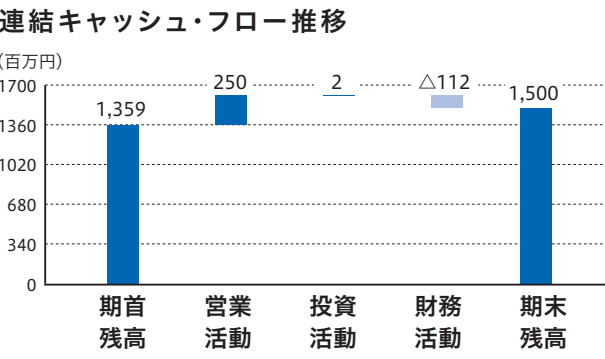
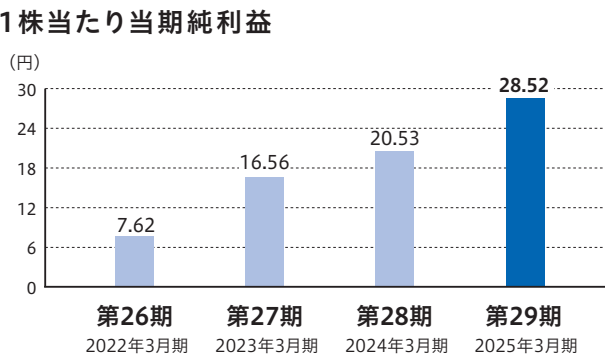
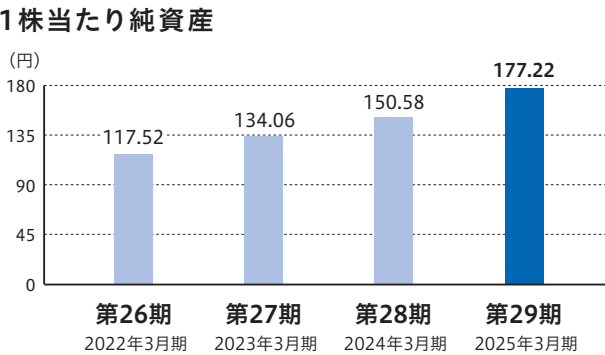
3 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は250百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額81百万円、売上債権の増加45百万円があったものの、税金等調整前当期純利益の計上330百万円、法人税等の還付額25百万円があったことにより資金が増加したことによるものです。

POINT

4 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は112百万円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出78百万円、配当金の支払額39百万円があったことにより資金が減少したことによるものです。



IRサイトのご案内

財務情報、株式等のIR情報をホームページでもご覧いただけます。

<https://www.j-tec-cor.co.jp/ir/index.html>

株式の状況 (2025年3月31日現在)

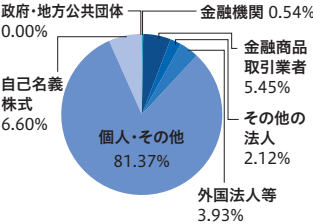
発行可能株式総数	発行済株式の総数	株主数
28,800,000株	8,572,400株	5,667名 (自己株式を除く)

大株主の状況

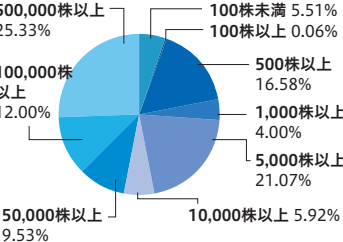
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
藤本 彰	1,605,600	20.05%
星川 輝	159,300	1.99%
ジェイテック従業員持株会	148,900	1.86%
仲西 啓	144,000	1.80%
黒米 克巳	135,000	1.69%
藤本 信	115,500	1.44%
株式会社SBI証券	114,170	1.43%
楽天証券株式会社	111,500	1.39%
佐伯 高史	100,700	1.26%
上田八木短資株式会社	89,400	1.12%

※持株比率は自己株式(565,700株)を控除して計算しております。

所有者別株式数分布



所有株数別分布



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711(通話料無料) 郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 グロース市場 名古屋証券取引所 メイン市場 (証券コード:2479)
---------------	--

公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL: https://www.j-tec-cor.co.jp/ir/
-----------	--

(但し、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

会社情報 (2025年3月31日現在)

会 社 名	株式会社ジェイテック	事 業 内 容	①技術職知財リース事業 (機械設計開発、電気・電子設計開発、ソフトウェア開発、建築設計) ②ソフトウェアの自社開発及び受託開発 ③有料職業紹介事業 ④各種技術サービス ⑤技術教育サービス ⑥総合コンサルティングサービス	役 員	代表取締役社長 藤本 彰 取締役 小川 典男 取締役 村田 竜三 取締役 岩崎 秀樹 取締役 西田 和弘 取締役 崔 在亨 取締役(監査等委員) 山田 峻介 取締役(監査等委員) 尾野 恭史 取締役(監査等委員) 関口 輝比古 取締役(監査等委員) 福田 寛 取締役(監査等委員) 藤原 昭男
所 在 地	〒104-0031 東京都中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル TEL:03-6228-7273 FAX:03-6228-8866	連 結 子 会 社	株式会社ジェイテックアドバンステクノロジー		
設 立	1996年8月16日				
資 本 金	2億6,183万円				
社 員 数	286名				

営業所一覧 札幌／水戸／東京／埼玉／横浜／
浜松／名古屋／大阪／福岡



技術商社®
株式会社 ジェイテック



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。